

上山市の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

・人口減少等の地域全体の課題

人口動態から本市の人口減少も顕在化しており、中学生数の減少も部活動実施に大きな影響を与えており、今後解消されることはない。

・地域展開の取組の現状

部活動の今後の見通しを見据えて、クラブ設立や中学生の部活動環境の整備を前向きに考えている個人・団体が多い。

・地域展開を進めるまでの課題

指導者謝金の確保、指導者の高齢化、部活動とクラブの適切なすみ分け、吹奏楽の会場及び楽器の保管場所などが考えられる。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	4校 (上山きらり学園含む)	全生徒数	576人(4/1)
域内の部活動数	34部(男女別)	実施した地域クラブ数	8クラブ
全体の指導者数	38人	全体の運営スタッフ数	38人
主な運営団体	ブカサポかみのやま（特定非営利活動法人かみのやまスポーツクラブ内）		
主な種目	陸上・サッカー・軟式野球・剣道・バスケットボール・バレー・ソフトテニス・アーバンスポーツ等		
平均的な活動回数	2回～4回/月	参加生徒実数 (11/1)	3年：11人 2年：51人 1年：58人
参加会費	0～2000円/月	主な活動場所	市内体育施設・各中学校

地域展開関連の取組・成果

・既存のクラブ・団体を最大限に活かして

市の部活動展開の方針を繰り返し説明し、これまで**中学生指導の実績**があるクラブや団体にクラブ設立を働きかける→R8までに11クラブの見込み

・運営団体の設立

運営団体「**ブカサポかみのやま**」を立ち上げ、既存の総合型地域クラブに運営委託し、新地域クラブの運営をサポートする体制づくり

・支援体制の試み（金銭面）

地域クラブへの団体支援と地域クラブ加入者への個人支援、並びに市施設の減免適用など、**上山市独自の裁量**で実施→R7・10月より

地域クラブ設立の流れ



上山市の部活動改革の取組み

活動の様子



上段左：上山バレークラブ
上段右：上記クラブと一緒に小学生
下段左：部活動体験時の柔道
下段右：部活動体験時の剣道

